

* 厚生労働省

平成22年度「児童虐待防止推進月間」の標語の募集について(6月1日更新)

平成22年度の児童虐待防止推進月間の取組の一つとして、国民一人ひとりが児童虐待問題についての理解をより一層深め、主体的な関わりを持てるように意識啓発を図ることを目的として、標語の公募が行われます。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000006pt0.html>

* 内閣府・男女共同参画局

配偶者からの暴力に関するデータ(5月21日更新)

http://www.gender.go.jp/e-vaw/data/dv_dataH2205.pdf

* 警察庁

平成21年中における自殺の概要資料(5月13日更新)

http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/220513_H21jisatsunogaiyou.pdf

平成21年中における家出の概要資料(5月24日)

http://www.npa.go.jp/toukei/chiiki_iede/h21_iede.pdf

薬物乱用防止資料(5月25日更新)

<http://www.npa.go.jp/sosikihanzai/yakubutu/yakubutu/yakutai16/drug2010.pdf>

児童ポルノ排除総合対策(案)について(5月31日更新)

犯罪対策閣僚会議の下に置かれた児童ポルノ排除対策ワーキングチームにおいて、今後3年間を目途に、官民一体となって対策を推進するため、「児童ポルノ排除総合対策」を策定することとしており、関係省庁の協議を経て同対策案が取りまとめられたもの。

<http://www.npa.go.jp/pressrelease/syonen/sougoutaisaku.pdf>

* 神奈川県・虐待対策支援課

神奈川県児童相談所における『性的虐待調査報告書(第3回)』(3月31日)

神奈川県では、性的虐待の未然防止、早期発見、早期介入や受理後の対応に関する取組を向上させるために、性的虐待の特徴や支援する上での課題を明らかにすることを目的として、これまで2回の調査を行われています。第3回の調査は、3回の調査の総まとめとなるよう、より詳細なデータをとり、過去の結果との比較も行なわれています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/13/1359/kodomo/no3seigyaku.pdf>

* 産経新聞

児童虐待を考える(シリーズ)

<http://sankei.jp.msn.com/etc/100526/etc1005262110000-n1.htm>

トラウマ、脳に影響 性的虐待8割に解離性障害(5月28日)

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/100526/crm1005261801024-n1.htm>

母親の約8割「子供に八つ当たりした経験」(5月31日)

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100531-00000565-san-soci>

* 読売新聞

虐待の一種 学会も注目…代理ミュンヒハウゼン症候群(5月29日)

「代理ミュンヒハウゼン症候群」(MSBP)と呼ばれる精神障害の症例が注目され始めている。子どもを献身的に看病する親を演じて周りの関心を引こうとするのが特徴だ。児童虐待の一形態とも言われ、幼い娘3人の点滴に水道水などを混入して死傷させた母親(37)に懲役10年の実刑を言い渡した京都地裁判決でも、この障害の影響で犯行に至ったとされた。専門家らは「社会や家庭環境の変化から、今後、増えていく可能性がある」と指摘している。

<http://osaka.yomiuri.co.jp/science/news/20100529-OYO8T00236.htm>